

Floppy's Phonics Stage 6 'Top Score'

p.1

ナディムがいたずらをしています。プラスチックでできたサソリを学校に持ってきたのです。
「ぼくのサソリ、すごいだろ？」ナディムは言いました。

p.2

サソリには大きなはさみが2つありました。
「恐ろしいのはこの毒針だ」

「こわそうだなあ」

p.3

「メイ先生は優しいからさ」チップが言いました。
「このサソリを床に置いて、先生を呼んでこようよ」

p.4

「メイ先生」クレイグが呼びました。「虫が這いまわっています。ドアから入って来ました」

p.5

「サソリみたいな虫です」ナディムが言いました。
「すごく大きいんです」

p.6

「まあ、なんてかわいそうなサソリ」メイ先生は言いました。
「はさみがひとつなくなってるわ」
「あ、ひとつ取れてる」

p.7

「このサソリには今日1日私のバッグの中に入れてもらいましょう」メイ先生は言いました。「さあ、みんな静かに」

pp.8-9

その日の午前中の休み時間です。クレイグがトップ・スコアというカードゲームを持ってきました。『ウォー・フォース』という新しいゲームを買ったのです。
クレイグはカードをみんなに配りました。「一番高い点を取った人が勝ちだよ」クレイグは言いました。
「やろう、やろう」

pp.10-11

クレイグのカードはゴール人のコレックスです。
ナディムのカードはノルマン人のホーク。
チップは古代ローマ人のオーガン。
ウィルフは海賊バイキングのトルケルのカードを持っていました。

p.12

「あっ、トルケルのヘルメットに角がついてる」とウィルフが言いました。「バイキングのヘルメットには角はついてないんだよ」

「そんなことはないよ。ついてるよ」

p.13

「ぼくは斧で戦うんだと思ってた」チップが言いました。
ちょうどその時メイ先生がクレイグたちを見つけました。

「ちがうよ。バイキングは剣で戦ったんだよ」

p.14

「今朝はいったいどうしたのかしら」先生は言いました。「このカードも私のバッグに入れましょ
うね。サソリと一緒に」

p.15

「あなたたちはバイキングについて調べなさい。そして調べたことをクラスみんなに発表す
るんですよ」

p.16

クレイグはバイキングのヘルメットについて調べました。「ウィルフがあつたよ」クレイグは言
いました。「ヘルメットに角はついてなかったんだ」

p.17

「それにさ」ナディムが言いました。「剣も斧も持ってたんだ。馬はよくわからないけど」

p.18

「ここに北欧神話があるよ」クレイグが言いました。「トールはバイキングの雷神だったんだ」

p.19

「ぼくはバイキングが住んでいた家の絵を描くよ」チップが言いました。

「屋根がわらでできてるんだ」

p.20

チップはバイキングの家を描きました。

クレイグは北欧神話を朗読して録音しました。

p.21

ナディムは海賊船を作りました。

ウィルフはバイキングたちが着ていたものの絵を描きました。

p.22

クレイグたちは絵を壁にはって、みんなの前で発表しました。

p.23

クラスみんなは大喜び。

「もっと話して」

p.24

「あなたたち4人、とてもよくがんばりましたよ。最後はね」

「いたずらしてごめんなさい」